



総合型地域スポーツクラブについて理解を深める参加者

町スポーツ講演会を開催 スポーツに親しむ環境づくりを

スポーツ環境の整備を図る目的に総合型地域スポーツクラブが来年度設立される予定です。スポーツクラブについて学ぼうと、スポーツ講演会が1月31日（木）町公民館で開催され、約70名が参加しました。講演会に先立ち、2,000人を対象に実施されたスポーツに関するアンケートの結果が発表されました。その後、福島大学人間発達文化学類黒須充教授を講師に招き、「総合型地域スポーツクラブの設立に向けて」と題した講演会が実施されました。



表彰状を持参して来庁される小貫さん(写真中央)

交通栄誉章緑十字銀章表彰 町交通安全協会長の小貫さんが受章

町交通安全協会長の小貫良巳さん（笠石）は、交通安全活動に尽力された方に贈られる、交通栄誉章緑十字銀章を受章されました。この表彰は、警察庁長官などが表彰するもので、1月18日に都内で行われた交通安全国民運動中央大会の席上で表彰され、小貫さんは2月4日（月）木賊町長に受章報告のため来庁されました。小貫さんは、交通安全協会の役員として約30年間尽力され、町交通安全協会長を始め、須賀川地区交通安全協会副会長を歴任されています。



稲田耕作教育委員長(写真右)から表彰状と記念品が一人ひとりに交付

平成19年度町教育委員会表彰 今年の実賞はスポーツ分野で活躍の5名

スポーツや文化の分野で活躍された方が表彰される平成19年度町教育委員会表彰式が1月28日（月）町公民館において開催され、次の5名の方々が受賞されました。佐藤靖弘さん（ふくしま駅伝監督として10年間尽力）、矢部達也さん（全国サッカー選手権大会出場）、佐藤優彰さん（全国高等学校駅伝大会出場）、廣瀬由紀子さん（全国高等学校バスケットボール大会出場）、遠藤菜央さん（東北中学校陸上競技大会女子共通1500m7位入賞）



阿部支社長(写真右)から木賊町長に認定書が手渡される

福島民友新聞社の福島遺産百選 岩瀬牧場が福島遺産百選に認定

福島民友新聞社が県内の文化財などを一般推薦により福島の遺産として認定しようとした「福島遺産百選」に岩瀬牧場が認定され、福島民友新聞社須賀川支社阿部恒雄支社長、桑田広久記者が木賊町長を訪れ認定書を交付しました。岩瀬牧場には、明治40年オランダから乳牛13頭が日本で初めて輸入され、友好の証として青銅の鐘が贈られました。小学校唱歌「牧場の朝」は岩瀬牧場がモデルとされ、町のシンボルソングとして愛唱されています。



防犯対策は地域の目から

昨年の町内の犯罪発生件数は、157件と前年対比66件の大幅な減少となりました。これは、防犯指導隊、地域安全活動推進員など地域が主体となり防犯活動を続けた成果です。地域の目を光らせることが犯罪を防ぐ大きなカギとなります。

防犯指導隊、地域安全活動推進員など防犯ボランティアのみなさんは、班編制にてパトロールを実施されています。また、定例会を開催してお互いの情報交換をし、次のパトロールに活かしています。

現在、防犯ボランティアによる定期的なパトロールが実

■ 車内にバッグを置かないで

無くす近道となります。しかし、自転車の盗、車上ねらいは、依然として多く、合わせて40件、全体の約80%を占めています。これらの犯罪を防ぐことが、町から犯罪を

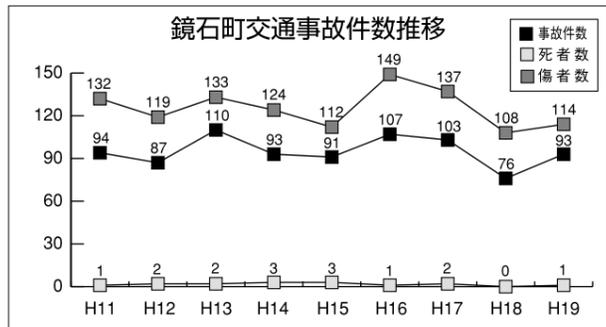
■ 依然として多い 自転車盗

昨年1年間の町内で発生した犯罪状況を見ると、前年と比較して大幅に減少し、防犯活動の成果が見られた年となりました。その状況を見ると、自転車盗の場合は、一重に施錠されていない自転車の被害、また、車上ねらいは、鳥見山公園などの駐車場が発生しています。女性は、通帳などをバッグに入れていたことが多く、そこに目を付けた犯行がほとんどです。「私には関係ないわ」などと思わないで、しっかりと防犯対策をしてください。

鏡石町内の犯罪発生件数

区分	空き巣	忍込み	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	車上ねらい	自販機ねらい	計	全刑犯
平成19年	4	0	3	0	28	12	3	50	157
平成18年	10	7	3	2	47	19	10	98	223
増減	-6	-7	0	-2	-19	-7	-7	-48	-66

自転車盗への対策
①二重ロック（ワイヤー錠の利用）
②防犯登録
最近では、住宅からも発生している。



ドライバーのみなさん、薄暗い中を運転して「ハッ」としたとありませんか。夜間高齢者の歩行中に発生する交通事故が増えています。ここでは、夜光反射材の着用でドライバーから見える距離の違いがどの程度あるのかを確かめて、交通事故防止に役立ててみましょう。

2カ月で4件の死亡事故発生

須賀川警察署管内では、2ヶ月間で4件の死亡事故が発生しており、いずれの事故も午前6時時代、午後5時時代に発生しています。このうち、3件が高齢者の歩行中に発生しています。全国的に見ても高齢者の死亡事故のうち、約半分は歩行中に発生しているなど、事故防止に向けた取り組みがなされているところです。

夜間の外出には夜光反射材の着用を

「暗くなったら私は外に出ません」という方もいらっしゃるかも知れません。夜間の外出には、夜光反射材の着用が効果的です。下の図を見ると、夜光反射材を付けた方と、黒っぽい服の方とは、車から見える距離が約6倍の差が出てきます。夜光反射材は、役場窓口で配布

夜、出かけるときは明るい服装や反射材をつけましょう!!

ドライバーから確認できる距離	黒っぽい服	ねずみ色の服	白っぽい服	反射材をつけた時
	20m	30m	40m	130m

お問い合わせ先 町総務課 ☎62 2111

夜間の外出には夜光反射材の着用を

していただきます。ご利用ください。